



令和5年度 学校を良くするためのアンケート集計結果について

校長 大島 一浩

【質問一覧】

学校運営	1	本校の教育目標は分かりやすい。 (「心豊かで思いやりのある人」「自ら考え自ら学ぶ人」「心身ともに健やかな人」)
	2	学校は、インターネットや各種お便り等で、学校の様子をよく発信している。
	3	電話をかけた時や学校へ訪問した時の、教職員の対応は丁寧である。
	4	教職員は、PTA や地域の活動に協力的である。
	5	特別支援教育(さざなみ学級、そよかぜ教室、学習支援員)の情報は十分周知されているか。
学習指導・生活指導	6	児童・生徒は、毎日楽しそうに学校に通っている。
	7	学校は、児童・生徒の学習意欲を高める授業が行われている。
	8	児童・生徒は、「国際科」(小)、「英語科国際」(中)の授業に意欲的である。
	9	児童・生徒は、進路学習やキャリア教育に積極的に取り組んでいる。 (小学校での体験学習、社会科見学や中学校での職場体験、職場訪問など)
	10	学校は、外部の人材や機関と連携する授業を進んで取り入れている。
	11	児童・生徒は、生活や学習のきまりを守って生活している。
	12	児童・生徒は、気持ちの良い挨拶をしている。
	13	児童・生徒のことで心配なことがあった場合、学校に相談しやすい。
道徳	14	道徳では、児童・生徒同士がよく話し合う授業が行われている。(道徳授業地区公開講座として公開しています。)
行事	15	児童・生徒は、儀式的行事に対し、真剣に取り組んでいる。(入学式・卒業式など)
	16	学習成果発表会(舞台発表の部)、作品展等を通して、児童・生徒の文化的な活動の成果が分かる。
	17	学習成果発表会(体育の部)等の体育的な行事を通して、児童・生徒の体育的な活動の成果が分かる。
安心・安全	18	安全教育に対する取組が十分に行われている。 (各種避難訓練、セーフティ教室、お台場学園防災 Jr. ティームの取組など)
	19	学校施設は清掃等が行き届き、清潔で落ち着いた環境が整備されている。
	20	給食は、安全・栄養・味等を考えた献立で作られている。
その他	21	学校は、地域の自然等の環境を生かした特色ある教育活動を行っている。
	22	PTA は、学校の教育活動に積極的に協力している。
	23	保護者や学校関係者は、学校行事、授業公開等の事後アンケートに意見や感想を回答している。
	24	地域コーディネーターを中心として、地域は学校に協力的である。(サマーワークショップ、各種検定の試験監督、職場体験など)
	25	お台場アカデミーとして、幼稚園、保育園、小学校、中学校が連携した教育活動が行われている。(小学校でのプレスクール、中学校での保育実習など)

【アンケート結果について】

令和5年度 港区立小中一貫教育校お台場学園
学校アンケート結果（保護者）



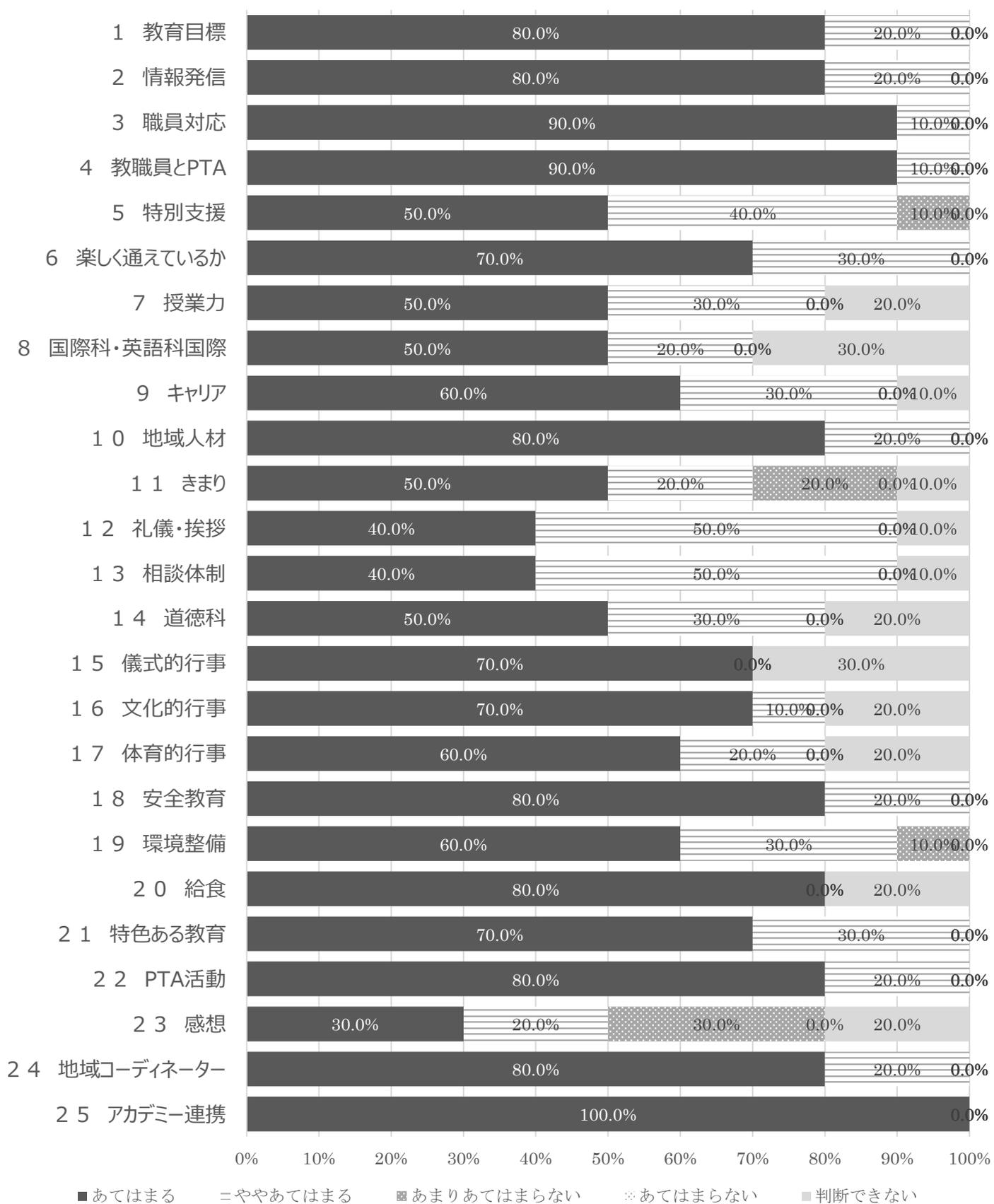
令和5年度 港区立小中一貫教育校お台場学園
学校アンケート結果（児童）



令和5年度 港区立小中一貫教育校お台場学園 学校アンケート結果（生徒）



令和5年度 港区立小中一貫教育校お台場学園
 学校アンケート結果（学校運営協議会委員）



令和5年度 港区立小中一貫教育校お台場学園
学校アンケート結果（教職員）



【保護者・教職員からの回答による各平均値】

	学校運営					学習指導・生活指導							
	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11	質問12	質問13
児童	3.3	-	3.6	-	3.7	3.2	3.2	3.4	3.8	3.6	3.4	3.5	3.1
生徒	3.4	-	3.6	-	3.7	3.4	2.8	3.2	3.3	3.3	3.5	3.4	2.7
保護者	3.3	3.1	3.6	3.5	2.9	3.4	3.1	3.1	3.2	3.2	3.0	2.9	3.1
学校運営協議会	3.8	3.8	3.9	3.9	3.4	3.7	3.6	3.7	3.7	3.8	3.3	3.4	3.4
教職員	3.7	3.5	3.4	3.3	3.2	3.5	3.5	3.4	3.6	3.8	2.5	2.1	3.5
保護者と教員の差	▲0.4	▲0.4	0.2	0.2	▲0.3	▲0.1	▲0.4	▲0.3	▲0.4	▲0.6	0.5	0.8	▲0.4

道徳	行事			安心・安全			その他				
質問14	質問15	質問16	質問17	質問18	質問19	質問20	質問21	質問22	質問23	質問24	質問25
3.5	3.7	3.7	3.6	3.6	3.2	3.6	3.7	3.5	-	3.6	3.1
3.2	3.5	3.5	3.4	3.5	3.4	3.6	3.5	3.3	-	3.6	3.3
3.3	3.5	3.6	3.5	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.1	3.6	3.3
3.6	4.0	3.9	3.8	3.8	3.5	4.0	3.7	3.8	3.0	3.8	4.0
3.4	3.4	3.6	3.7	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.2	3.8	3.6
▲0.1	0.1	0	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲0.3

評価について、A：あてはまる＝4点、B：ややあてはまる＝3点 C：あまりあてはまらない＝2点、D：あてはまらない＝1点、E：判断できない＝欠損値として得点化し、それぞれの回答項目における平均を算出した。

【学校の改善ポイント】

学校運営(質問1～5)

多くの方に肯定的な回答をいただいた。「3 教職員の対応」は、88%以上の保護者が「あてはまる」「ややあてはまる」と答えており、日頃の教職員の丁寧な対応が評価されたと考えているしかし、教職員は、数値的には高いものの、来客電話対応について、不十分と回答もあり、「最初に対応した人がお台場学園の第1印象になる。」「個人だけでなく、学校の信頼関係をなくす。」と捉え、この反省を共通理解し、学校関係者への丁寧な対応を実践していきたい。また、「1 教育目標」については、児童・生徒ともに50%以下という結果を踏まえ、本校の教育目標について改めて説明し、本校の児童・生徒として誇りをもって前進できる指導を行っていく。

「5 特別支援教育」は、児童・生徒は日常的に関わりを深めているため、高い数値となっているが、保護者・地域の方には、数値を見ると、まだ、情報提供ができていないことを実感した。「さぎなみ学級」「そよかぜ教室」の教育活動を学校日よりやX(旧ツイッター)等を活用し多角的に情報を提供していく。

学習指導・生活指導(質問6～13)

「6 学校に楽しく通えているか」は、児童は76%以上、生徒85%以上が「あてはまる」「ややあてはまる」

と回答している。児童については、様々な悩み等がいつでも相談でき、楽しく学べる環境づくりを行っていきたい。また、「7意欲を高める授業」が、児童・生徒が楽しく通える学校とも深く関わっているため、個を大切にしたい。児童・生徒が主体となって取り組む授業を展開していく。来年度は「第50回全日本教育工学研究協議会全国大会（東京都港区大会）」研究奨励校に指定されたため、ICTを活用した指導について、更に研鑽し、授業力の向上に努めていく。

「11生活や学習のきまり」「12挨拶」については、児童・生徒及び保護者・地域の数値に比べ、教職員の数値は低くなっている。きまりに対する教職員の意識を共通した徹底した指導に不十分さがあるのではという声もある。「挨拶」についても『あいさつ運動』等を行っているが、日常的に教職員が進んで挨拶をしたり、指導したりすることがされているか、学校サイドにも反省すべき点がある。「学校生活のきまり」を基に教職員が共通理解をした上で児童・生徒がきまりの大切さを理解できる丁寧な指導を根気強く行っていく。ただ、学校教育だけでは実現することは難しい課題でもあり、根気強く内面的な資質を育む指導（校長講話、道徳、学級活動等）を学校・家庭・地域が連携しながら、解決に向けた健全育成を図っていききたい。

道徳(質問14)

「14道徳では、児童・生徒同士がよく話し合う授業が行われている。」は、保護者、児童・生徒は80%前後「あてはまる」「ややあてはまる」と回答されていた。一方、教職員は、70%と学ぶ側と指導する側で100%以上の開きがあった。児童・生徒の思いや考えをまだ十分に発言ができていない面があり、道徳に限らず、様々な学習で話し合い、周りに伝える表現力を身に付ける授業づくりを行っていく。今後も、児童が自ら考え・思いを伝えられる学級環境を整え、日常生活に生かしたり、将来への夢を膨らませたりすることができる授業を展開していきたい。また、本校は、全校道徳の日を毎月1回設定し、全校同時に道徳の授業を行い、授業の様子をX（旧ツイッター）やホームページにもアップしている。毎年、道徳地区公開講座も行っているが、さらに、道徳授業を見てもらう機会を積極的に作っていく。

行事(質問15～17)

本校の児童・生徒は行事に向けて、目標をもって活動し、集団での取り組みについても一致団結し、大きな達成感を得ている。学校だけで取り組めないことも多い中、保護者・地域のご協力には感謝している。このお台場の一体感が児童・生徒を育てている喜びを様々な行事から感じている。

安心・安全(質問18～20)

「18安全教育」については、80%以上が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答とされていた。「お台場防災 Jr.チーム」の取り組みや海に面した地域として、工夫された避難訓練の取り組みが評価されたと考えている。また、「給食」についても栄養士や給食調理員が工夫した食事を提供していただくことが、児童・生徒には学校生活の楽しみにもなっている。また、食育指導も、児童・生徒に大切な要素となり、栄養士と担任が連携した指導を今後も行っていく。

その他(質問21～25)

「24地域コーディネーターを中心として、地域は学校に協力的である。」については、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答された方が、80%を超えていた。コロナウィルスが流行し、規制のあった活動が数年続いたが、地域コーディネーターを中心に、多くの方々が、児童・生徒のために、今までの活動を見直した上で、「子供まん中社会」での新たな活動を考えていく。工夫された活動をしてくださっていることへの評価と考えている。今後も保護者・地域・教職員が連携した活動を行っていききたい。